

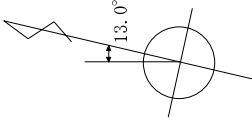
(環境確保条例第118条の2 参考様式)

土壤污染情報公開台帳

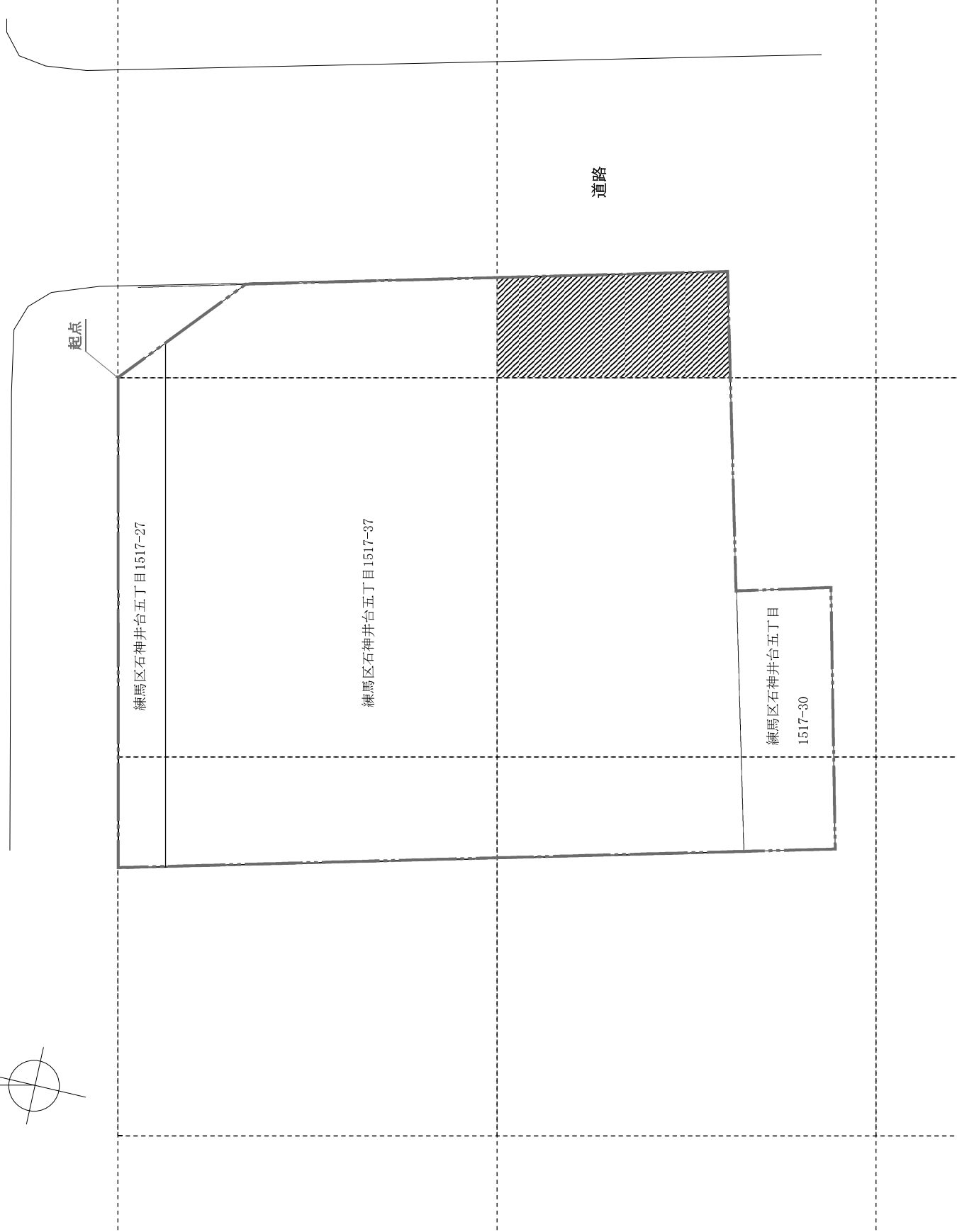
(事業場No. KJ-345-006)

整理番号	120-0008	調製年月日・契機	令和6年4月12日 ・ 第116条第1項第2号		
所在地	練馬区石神井台五丁目1517番27、30、37 (地番)		練馬区石神井台五丁目24番7号 (住居表示)		
訂正年月日・契機	令和7年2月20日・第116条第4項・第116条第8項、令和7年3月10日・添付書類整理等、令和7年9月19日・追記等				
工場又は指定作業場の名称 (土地の改変に係る事業の名称)	スズキ城西販売株式会社		面積	0 m ² (基準不適 合範囲)	261.67 m ² (調査範囲)
汚染状況調査の方法に関する特記事項					
当該土地において講じられた健康被害の防止又は周辺地下水汚染拡大の防止のための措置がある場合は、その内容			土壌汚染の除去 (掘削除去)		
当該土地に第122条第1項第2号の土壌がある場合は、その旨 (汚染の原因が水面埋立材に由来する場合は、その旨)					
当該土地が第54条第3項第1号に該当する場合は、その旨			表中1の項下欄 (溶出量基準超過かつ周辺で地下水の飲用あり) に該当		
当該土地が第55条第3項に該当する場合は、その旨					
当該土地が土壌汚染対策法の規定に基づき要措置区域又は形質変更時要届出区域に指定された区域を含む場合は、その旨					
備 考			令和7年2月14日基準不適合範囲面積変更 (16.76m ² →0m ²)、令和7年9月19日地下水の汚染状況の追記・土地の措置等実施者の訂正等		
土壌の汚染状況	報告受理年月日	特定有害物質の種類	適合しない基準項目		汚染状況調査の受託者
	令和6年3月18日	ほう素及びその化合物	含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		(株)エスク横浜分析センター
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
			含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		

地下水の汚染状況	報告受理年月日	特定有害物質の種類		適合又は適合しない基準項目		汚染状況調査の受託者
	令和6年3月18日	—		適合・地下水基準・第二地下水基準		(株)エスク横浜分析センター
				適合・地下水基準・第二地下水基準		
地下水の汚染状況 (対象地境界)				適合・地下水基準・第二地下水基準		
				適合・地下水基準・第二地下水基準		
土地の措置又は 改変状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の措置又は改変の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
	令和6年5月1日 (令和6年7月29日)	令和6年8月13日	土壌汚染の除去（掘削除去）	スズキ城西販売 (株)	有・無	分別等処理施設
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	
					有・無	



別図



凡例

---：単位区画

—：筆境界

□：敷地境界

▨：要対策区域

＜起点＞

起点は、練馬区石神井台五丁目
1517-27の敷地境界の最北端と
する。

＜要対策区域の面積＞

16.76㎡

＜格子の回転角度（13.0度）＞

格子の回転角度は、起点を通り東西
方向及び南北方向に引いた線並びに
これらと並行して10m間隔で引いた
線により構成されている格子を、起
点を中心として、右回りに回転させ
た角度を示す。

1. 調査概要

本調査は東京都環境確保条例第 116 条第一項に基づき調査を行い、土壌の汚染状況を把握する。

1.1 調査件名：

スズキ城西販売(株)様建替計画 土壌汚染状況調査

1.2 調査場所：

東京都練馬区石神井台 5 丁目 24-7 (住居表示)

※添付 1 調査対象地に示す。

1.3 対象地面積：261.67 m² (実測値)

1.4 調査期間：土壌試料採取 令和 5 年 6 月 6 日、9 月 13 日

分析検査 令和 5 年 6 月 6 日～19 日、9 月 13 日～25 日

地下水及び深度方向調査試料採取 令和 5 年 11 月 11 日

分析検査 令和 5 年 11 月 11 日～17 日

1.5 発注者：スズキ城西販売 株式会社

1.6 受注者：株式会社 アーク・プランニング

1.7 下請負：株式会社 創和 (1 次)

1.8 調査機関・分析機関：

株式会社 エスク横浜分析センター (2 次)

(土壌汚染対策法環境省指定調査機関 2014-3-1003)

(神奈川県 濃度 第 47 号)

〒236-0003

横浜市金沢区幸浦二丁目 19 番 5

TEL:045-785-2914 FAX:045-783-8883

3.5 地下水調査

ほう素及びその化合物が溶出量基準を超過した Z1-6 において、地下水汚染の状況を確認する必要がある。

しかし当該敷地においては、GL から約-16.00m (T.P.33.89m) までの深さに地下水位が確認されていないとの知見を得ており(「4.地下水等の状況」に詳細を示す。)、溶出量基準超過が認められた最も深い位置(被覆物下-1.40m、T.P.48.40m)と地下水の上面との距離が十分離れていることから、地層等も考慮して、当該土壤汚染による地下水への影響は低いものと判断し、地下水の採取による調査は行わなかった。

3.6 深度方向調査

汚染深度の確認は、Z1-6 油水分離槽下地点よりボーリング機材を用いて土壌試料採取、及び分析を行った。

※試料採取深度は添付 16 地下水・深度方向調査地点位置図に示す。

4. 地下水等の状況

4.1 対象地における地形地質の概況

対象地は、武蔵野台地の中央北側に位置し、T.P.は約 50m である。この付近は概ね平坦な台地を形成し、東側に向かって低くなっていく。

同一敷地内において、過去 1 年以内に地質調査が行われており、GL-16.30 m (T.P.33.59m) までのボーリングにより、地下水の存在は認められていない。(図 4.2 参照)

なお、今回実施した深度方向調査において、被覆物下-8.50m (T.P.41.30m) までの地層について、既知の調査結果(図 4.2)を裏付ける結果を得ている。(図 4.1 参照)

※図 4.1 に Z1-6 油水分離槽下地点ボーリング柱状図、図 4.2 に敷地内ボーリング柱状図、図 4.3 に対象地ボーリング調査地点を示す。

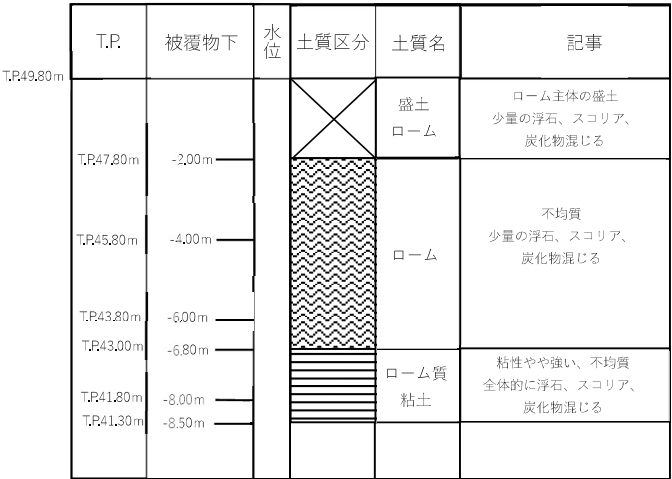


図 4.1 Z1-6 油水分離槽下地点
ボーリング柱状図
(調査日：2023 年 11 月 11 日)

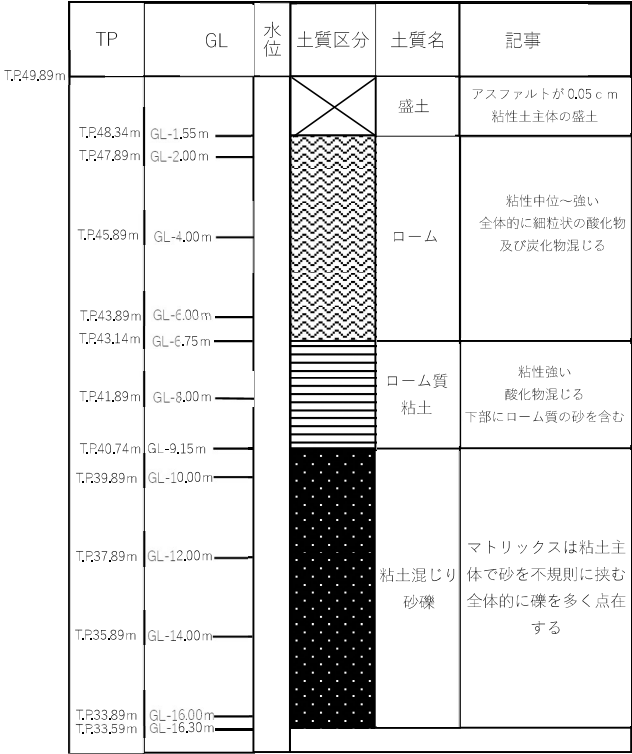


図 4.2 敷地内ボーリング柱状図
(調査日：2023 年 2 月 19 日～)

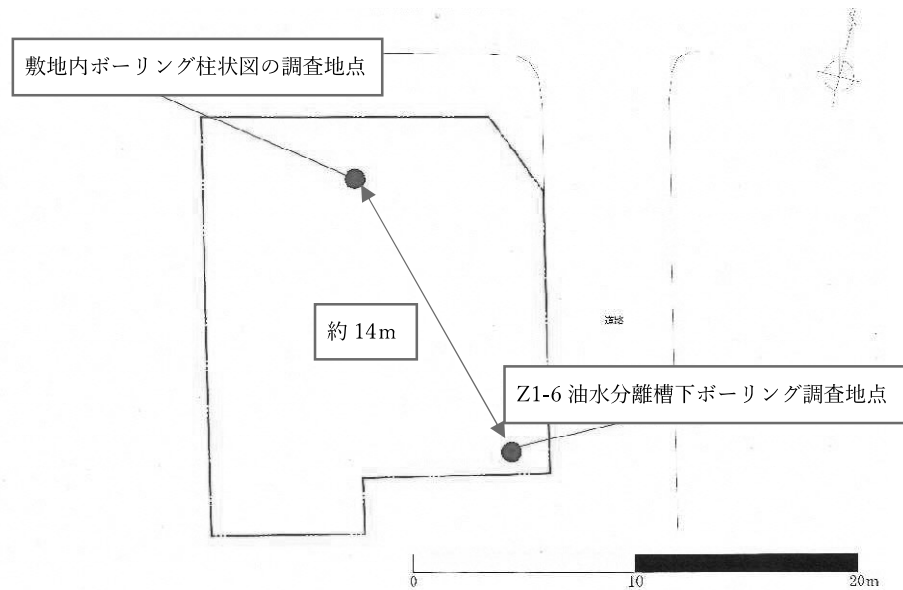


図 4.3 対象地ボーリング調査地点

4.2 対象地付近における地下水の概況

対象地付近における地形からみて、地下水の流向は西南西から東北東に流れると推定される。

4.3 地下水汚染が到達する可能性のある距離

対象地に地下水汚染が生じていた場合、100年間で地下水汚染が到達し得る距離は地層が砂礫で動水勾配が 0.0025m/m となり西南西から東北東に 800m となった。

※土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（改定第 3.1 版）

Appendix-1 令和 4 年 8 月 環境省 水・大気環境局水環境課土壌環境室による。

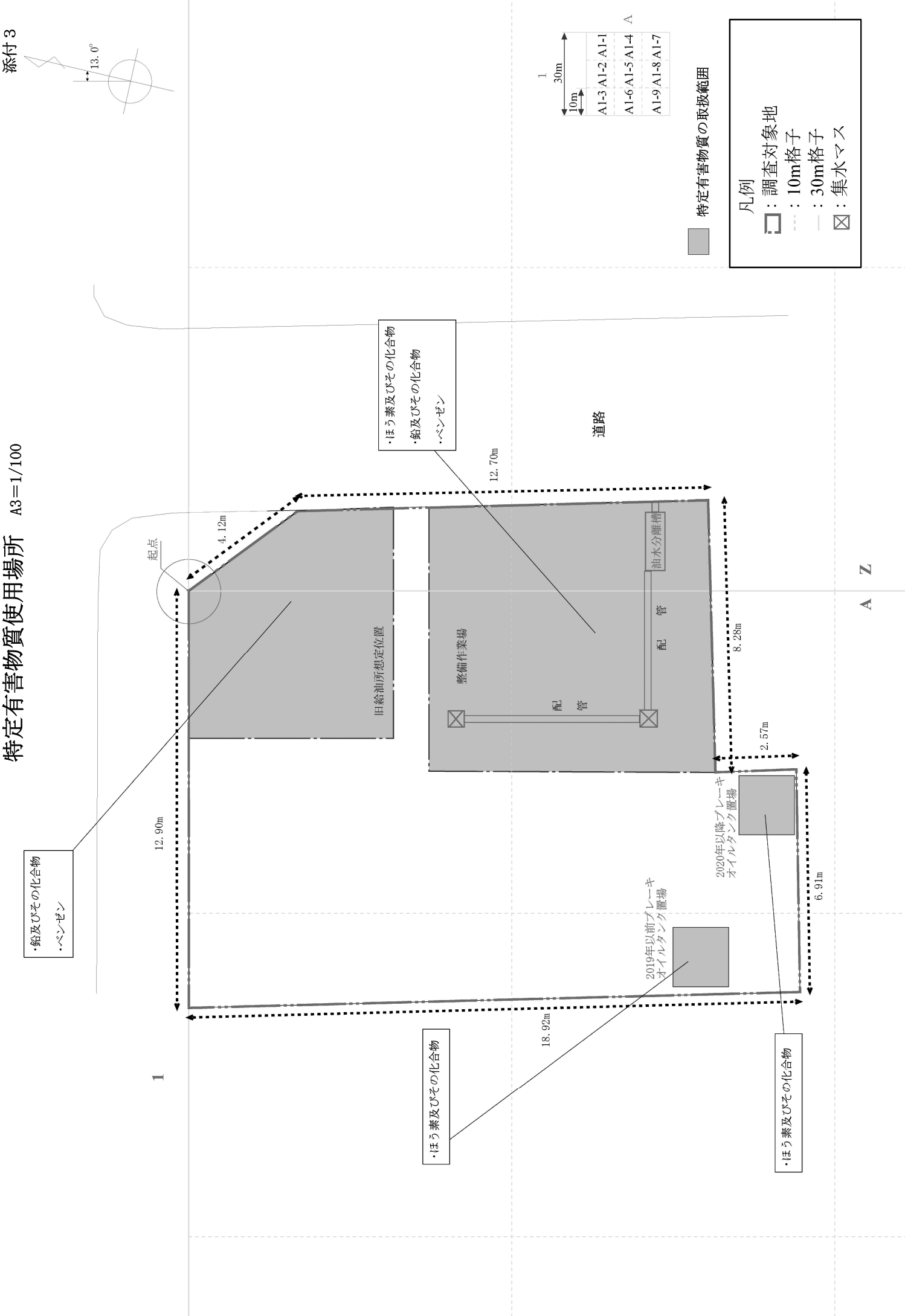
調査対象地

調査対象地：東京都練馬区石神井台 5 丁目 24-7（住居表示）



調査対象地位置図（□：調査対象地）

（出典：地理院地図）



添付 4

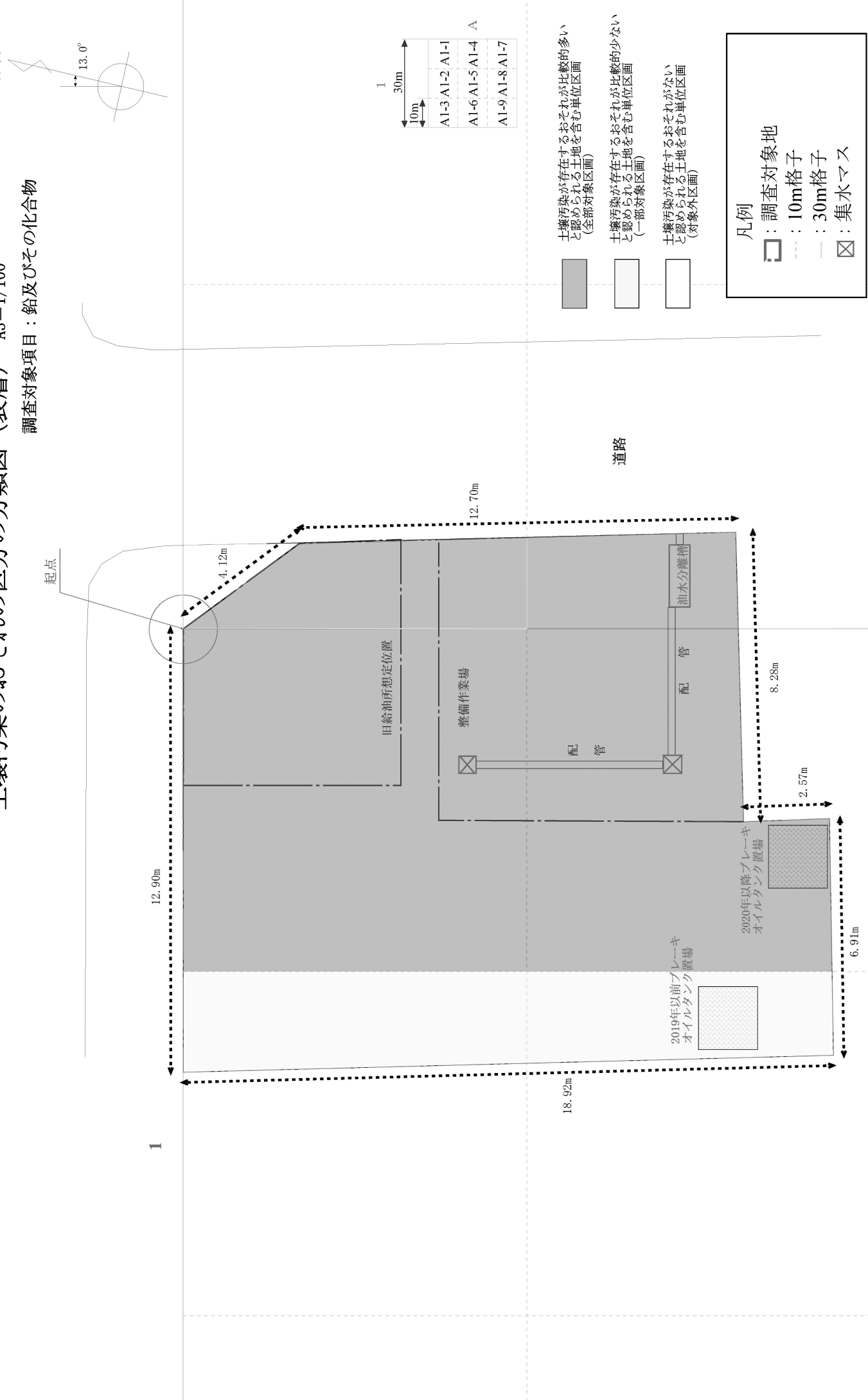
(表層) A3=1/100
調査対象項目：ベンゼン

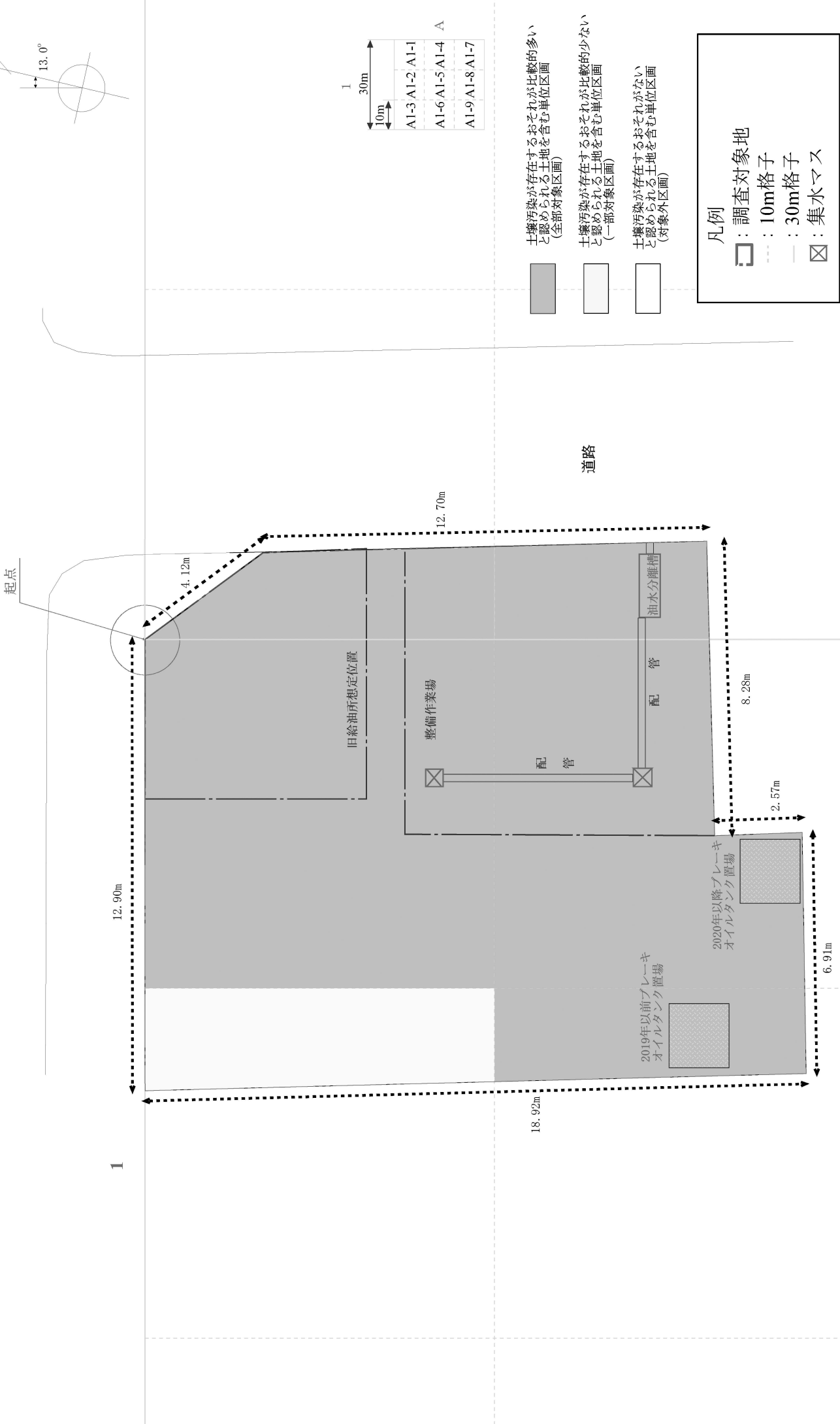


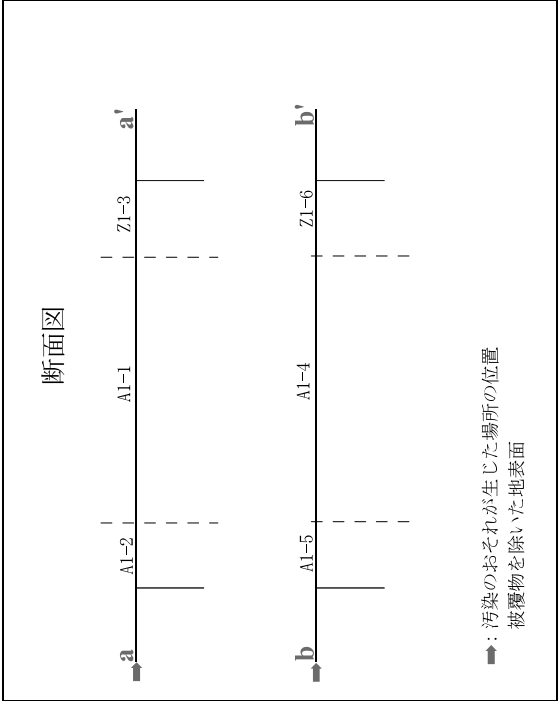
土壌汚染のおおそれの区分の分類図

(表層) A3=1/100
 調査対象項目：鉛及びその化合物

添付 5

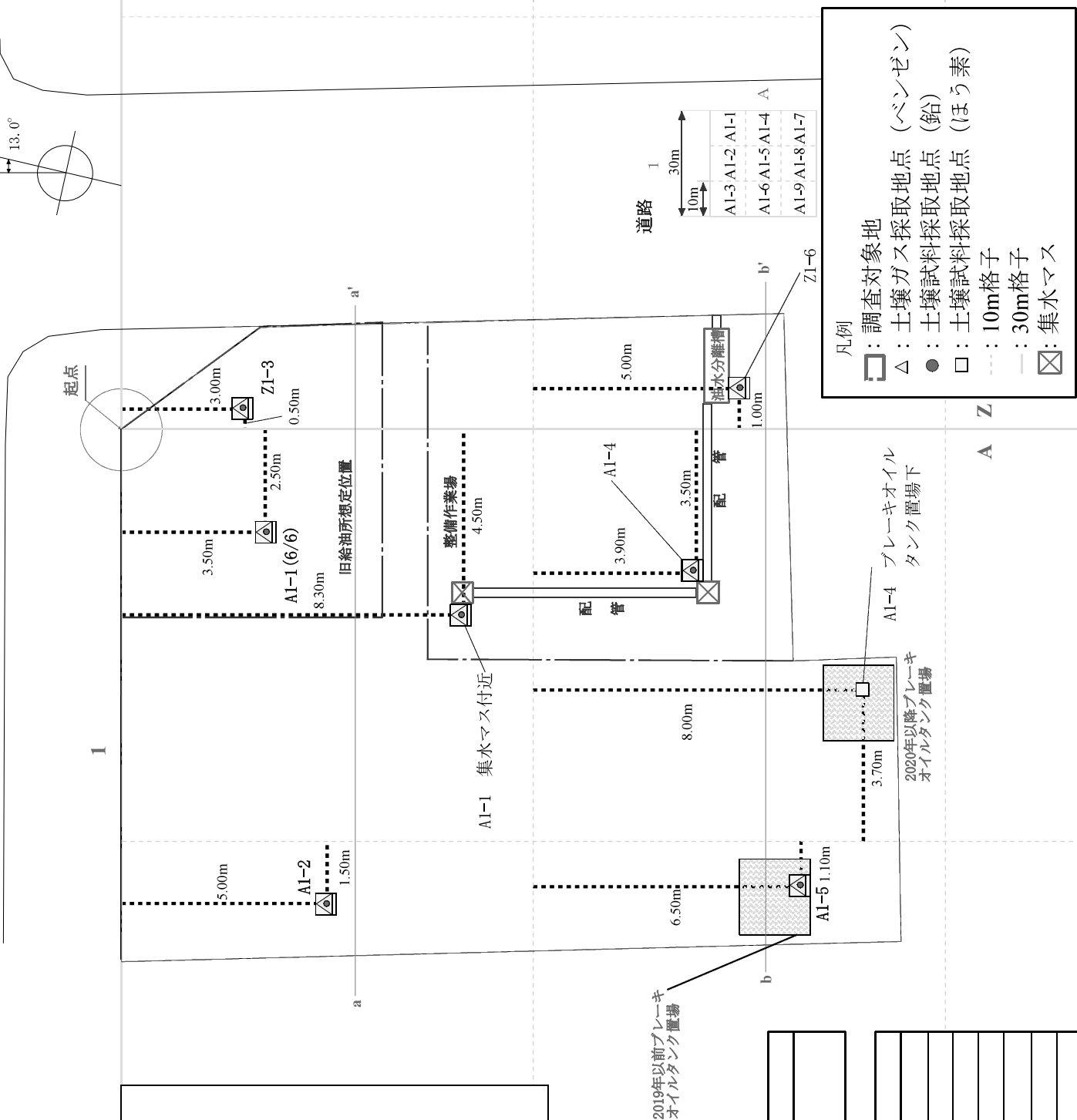


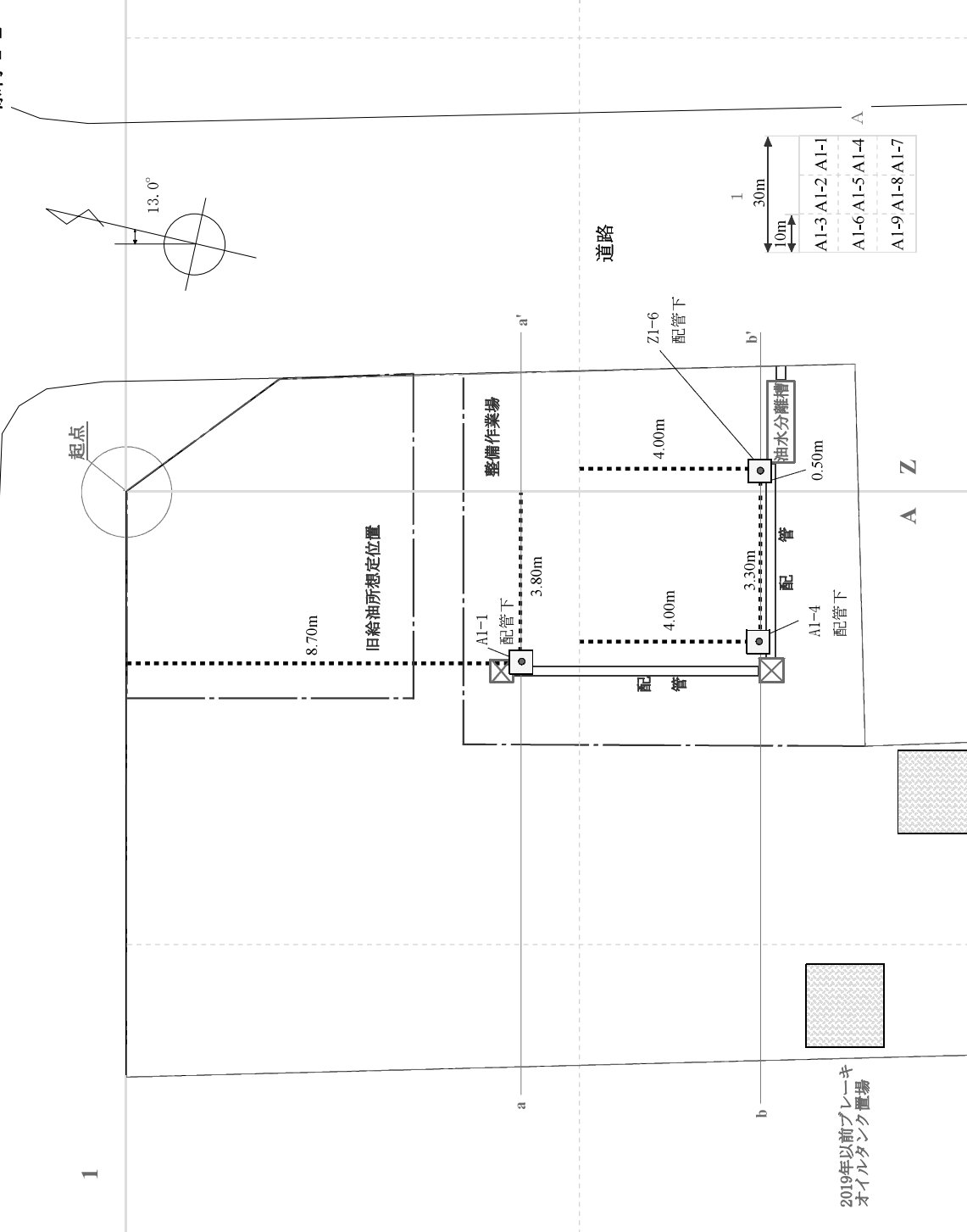
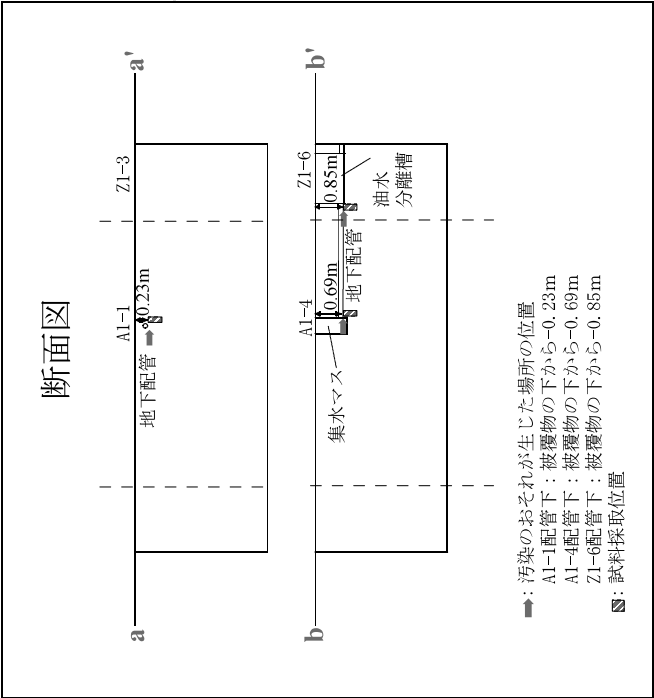




対象項目：ほう素	
A1-4ブレーキオイル タンク置場下	ブレーキオイルタンク置場に設定した。

対象項目：ほう素、鉛、ベンゼン	
A1-1	集水マス位置付近に設定した。
A1-1（6/6）	旧燃料販売所の想定位置付近に設定した。
A1-2	区画の中心付近に設定した。
A1-4	集水マス付近に設定した。
A1-5	ブレーキオイルタンク置場に設定した。
Z1-3	旧燃料販売所の想定位置付近に設定した。
Z1-6	油水分離槽付近に設定した。





凡例

□: 調査対象地

●: 土壌試料採取地点 (鉛)

□: 土壌試料採取地点 (ほう素)

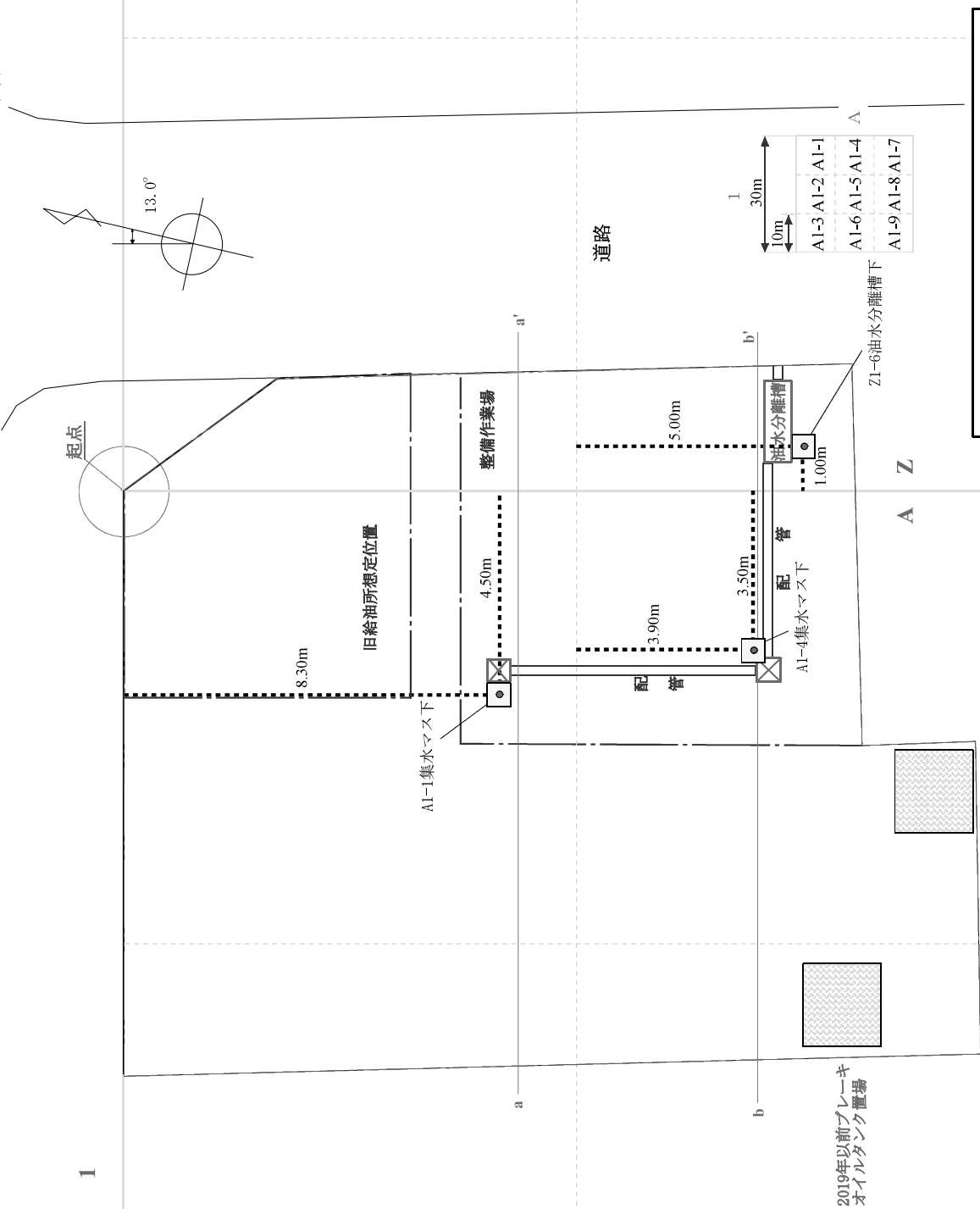
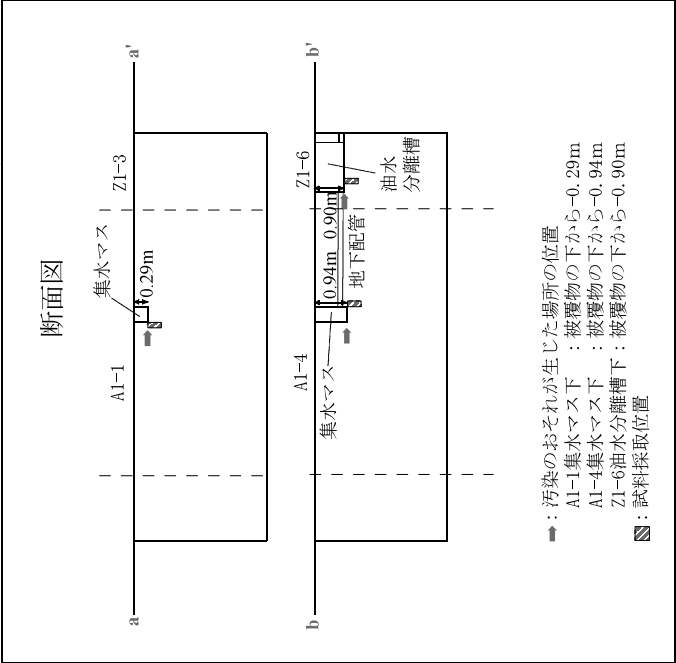
---: 10m 格子

—: 30m 格子

☒: 集水マス

A1-1	地中配管付近に設定した。
A1-4	地中配管付近に設定した。
Z1-6	地中配管付近に設定した。

1

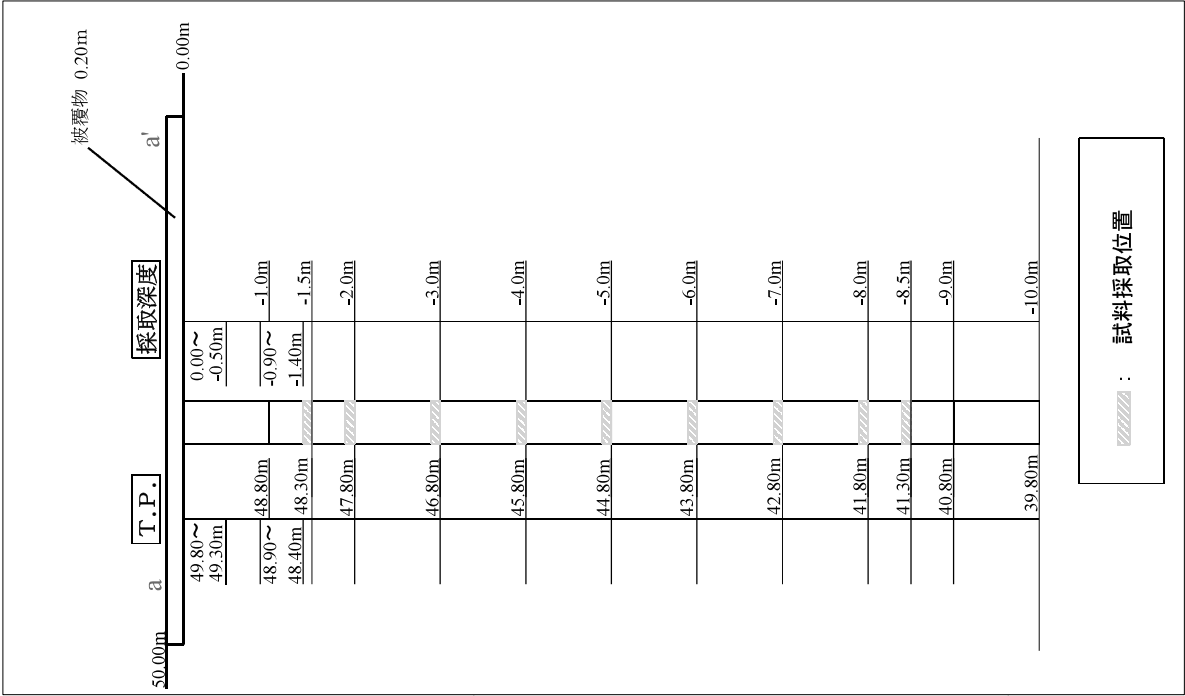


凡例

- ：調査対象地
- ：土壌試料採取地点（鉛）
- ：土壌試料採取地点（ほう素）
- ：10m格子
- ：30m格子
- ☒：集水マス

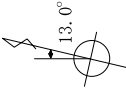
A1-1	集水マス付近に設定した。
A1-4	集水マス付近に設定した。
Z1-6	油水分離槽付近に設定した。

1



- 凡例
- : 調査対象地
 - : 調査地点
 - - -: 10m格子
 - - -: 30m格子
 - ☒: 集水マス

Z1-6 油水分離槽直近に設定した。



採取地点 A1-1 (6/6) (採取日：6月6日)				A1-1 (採取日：9月13日)				A1-1配管下 (採取日：9月13日)				A1-1集水マス下 (採取日：9月13日)			
項目 /単位	vol ppm	mg/L	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/kg	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/kg	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/kg	mg/kg
ベンゼン	ND			ND											
鉛及びその化合物		ND	33		ND	44	75		ND				ND	27	
ほう素及びその化合物		ND	ND		0.3	ND	ND		0.3	ND			0.3	ND	

採取地点 A1 (A1-2) (採取日：6月6日)			
項目 /単位	vol ppm	mg/L	mg/kg
ベンゼン	ND		
鉛及びその化合物		ND	41
ほう素及びその化合物		ND	ND

採取地点 Z1-3 (採取日：6月6日)			
項目 /単位	vol ppm	mg/L	mg/kg
ベンゼン	ND		
鉛及びその化合物		ND	20
ほう素及びその化合物		ND	ND

採取地点 A1-5 (採取日：6月6日)			
項目 /単位	vol ppm	mg/L	mg/kg
ベンゼン	ND		
鉛及びその化合物		ND	19
ほう素及びその化合物		ND	ND

採取地点 A1-4 (採取日：9月13日)				A1-4配管下 (採取日：9月13日)				A1-4集水マス下 (採取日：9月13日)			
項目 /単位	vol ppm	mg/L	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/kg	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/kg	mg/kg
ベンゼン	ND										
鉛及びその化合物		ND	78		ND	6	ND		ND	7	
ほう素及びその化合物		0.4	ND		ND	ND	ND		ND	ND	

採取地点 A1-4ブレーキオイルタンク置場下 (採取日：9月13日)		
項目 /単位	mg/L	mg/kg
ほう素及びその化合物	ND	ND

採取地点 Z1-6 (採取日：9月13日)				Z1-6配管下 (採取日：9月13日)				Z1-6油水分離槽下 (採取日：9月13日)			
項目 /単位	vol ppm	mg/L	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/kg	mg/kg	vol ppm	mg/L	mg/L	mg/kg
ベンゼン	ND										
鉛及びその化合物		ND	22		ND	5	ND				46
ほう素及びその化合物		0.3	ND		0.6	74	1.6				190

Z1-6 (採取日：11月11日) 深度方向調査					
採取深度 (被覆物下)		T.P.	ほう素溶出量 (mg/L)	ほう素含有量 (mg/kg)	
油水分離槽下-1.40m		48.20m	1.6 (9/13再掲)	190 (9/13再掲)	
-1.50m		48.30m	0.4	86	
-2.00m		47.80m	0.3	41	
-3.00m		46.80m	0.2	ND	
-4.00m		45.80m	ND	ND	
-5.00m		44.80m	ND	ND	
-6.00m		43.80m	ND	ND	
-7.00m		42.80m	ND	ND	
-8.00m		41.80m	ND	ND	
-8.50m		41.30m	ND	ND	

10m	A1-3 A1-2 A1-1
30m	A1-6 A1-5 A1-4
	A1-9 A1-8 A1-7

基準超過区画

- 凡例
- 調査対象地
 - 溶出量基準超過
 - 10m格子
 - 30m格子
 - 集水マス

1. 措置の方法・施工計画概要

措置範囲：措置面積 21.00 m² (B×L=3.5m)

措置の方法：土壤汚染の除去（掘削除去）

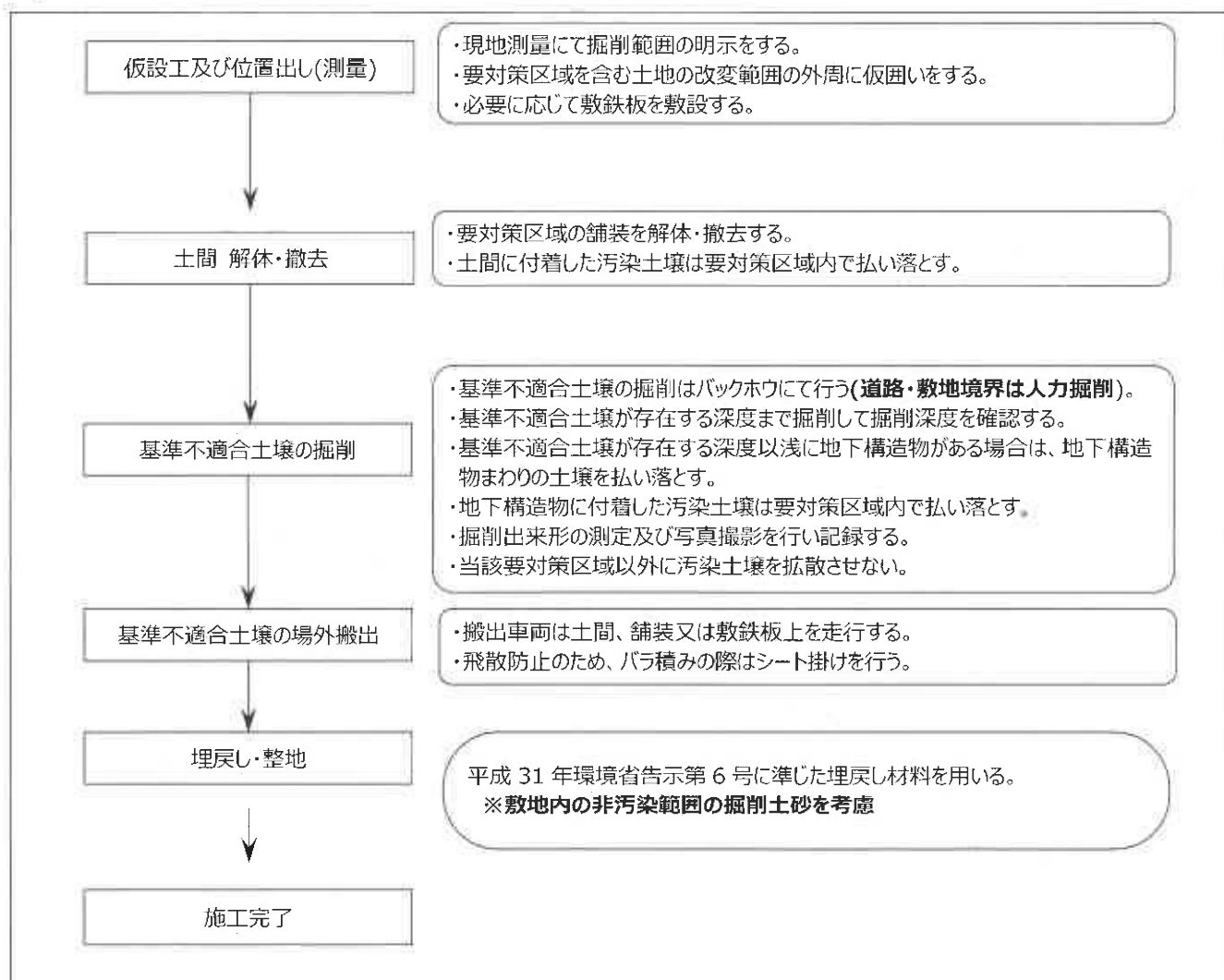
完了確認：測量及び写真撮影による出来形確認を実施

基準不適合土壤掘削土量：33.6m³ (21.00 m²×1.6m) ※掘削深さ：被覆物下より-1.6m

汚染土壤搬出先：株式会社ダイセキ環境ソリューション 横浜恵比須リサイクルセンター

横浜市神奈川区恵比須町 5 番地 13

2. 施工フロー



※雨天時の降水による水たまりが掘削孔に生じた場合、別紙 3-4 による対応とする

3. 施工業者

株式会社アーキ・プランニング

東京都立川市高松町 3-8-4

TEL 042-526-4004

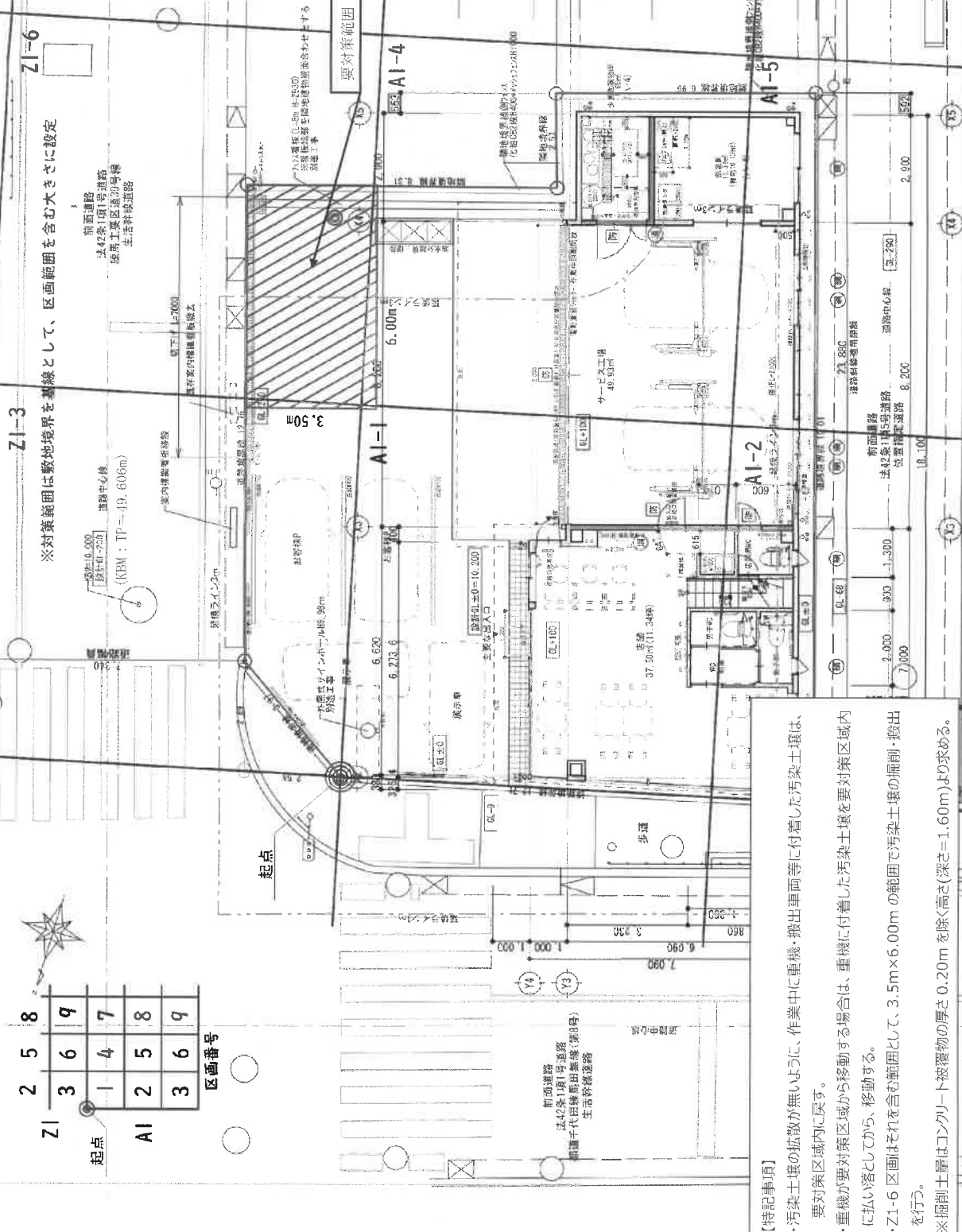
○措置の施工方法を明らかにした平面図、立面図及び断面図

1. 平面図

Z1	2	5	8
	3	6	9
A1	1	4	7
	2	5	8
	3	6	9

起点

区画番号



Z1-6

Z1-3

Z1-9

A1-4

A1-5

A1-6

A1-7

A1-8

A1-9

A1-10

A1-11

A1-12

A1-13

A1-14

A1-15

A1-16

A1-17

A1-18

A1-19

A1-20

A1-21

A1-22

A1-23

A1-24

A1-25

A1-26

A1-27

A1-28

A1-29

A1-30

A1-31

A1-32

A1-33

A1-34

A1-35

A1-36

A1-37

A1-38

A1-39

A1-40

A1-41

A1-42

A1-43

A1-44

A1-45

A1-46

A1-47

A1-48

A1-49

A1-50

A1-51

A1-52

A1-53

A1-54

A1-55

A1-56

A1-57

A1-58

A1-59

A1-60

A1-61

A1-62

A1-63

A1-64

A1-65

A1-66

A1-67

A1-68

A1-69

A1-70

A1-71

A1-72

A1-73

A1-74

A1-75

A1-76

A1-77

A1-78

A1-79

A1-80

A1-81

A1-82

A1-83

A1-84

A1-85

A1-86

A1-87

A1-88

A1-89

A1-90

A1-91

A1-92

A1-93

A1-94

A1-95

A1-96

A1-97

A1-98

A1-99

A1-100

A1-101

A1-102

A1-103

A1-104

A1-105

A1-106

A1-107

A1-108

A1-109

A1-110

A1-111

A1-112

A1-113

A1-114

A1-115

A1-116

A1-117

A1-118

A1-119

A1-120

A1-121

A1-122

A1-123

A1-124

A1-125

A1-126

A1-127

A1-128

A1-129

A1-130

A1-131

A1-132

A1-133

A1-134

A1-135

A1-136

A1-137

A1-138

A1-139

A1-140

A1-141

A1-142

A1-143

A1-144

A1-145

A1-146

A1-147

A1-148

A1-149

A1-150

A1-151

A1-152

A1-153

A1-154

A1-155

A1-156

A1-157

A1-158

A1-159

A1-160

A1-161

A1-162

A1-163

A1-164

A1-165

A1-166

A1-167

A1-168

A1-169

A1-170

A1-171

A1-172

A1-173

A1-174

A1-175

A1-176

A1-177

A1-178

A1-179

A1-180

A1-181

A1-182

A1-183

A1-184

A1-185

A1-186

A1-187

A1-188

A1-189

A1-190

A1-191

A1-192

A1-193

A1-194

A1-195

A1-196

A1-197

A1-198

A1-199

A1-200

A1-201

A1-202

A1-203

A1-204

A1-205

A1-206

A1-207

A1-208

A1-209

A1-210

A1-211

A1-212

A1-213

A1-214

A1-215

A1-216

A1-217

A1-218

A1-219

A1-220

A1-221

A1-222

A1-223

A1-224

A1-225

A1-226

A1-227

A1-228

A1-229

A1-230

A1-231

A1-232

A1-233

A1-234

A1-235

A1-236

A1-237

A1-238

A1-239

A1-240

A1-241

A1-242

A1-243

A1-244

A1-245

A1-246

A1-247

A1-248

A1-249

A1-250

A1-251

A1-252

A1-253

A1-254

A1-255

A1-256

A1-257

A1-258

A1-259

A1-260

A1-261

A1-262

A1-263

A1-264

A1-265

A1-266

A1-267

A1-268

A1-269

A1-270

A1-271

A1-272

A1-273

A1-274

A1-275

A1-276

A1-277

A1-278

A1-279

A1-280

A1-281

A1-282

A1-283

A1-284

A1-285

A1-286

A1-287

A1-288

A1-289

A1-290

A1-291

A1-292

A1-293

A1-294

A1-295

A1-296

A1-297

A1-298

A1-299

A1-300

A1-301

A1-302

A1-303

A1-304

A1-305

A1-306

A1-307

A1-308

A1-309

A1-310

A1-311

A1-312

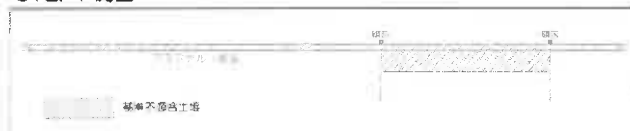
A1-313

A1-314

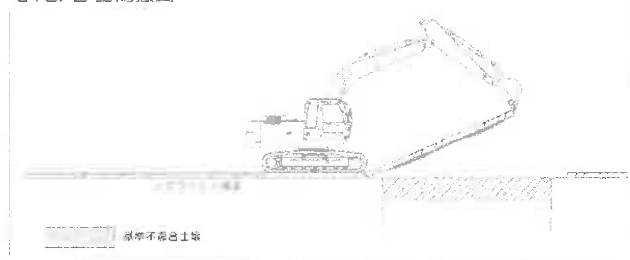
2. 立面図及び断面図

※掘削除去工事の概略手順図を以下に示す

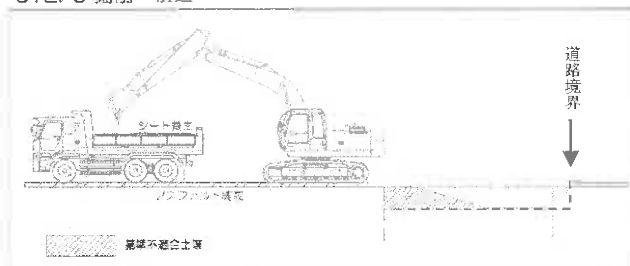
STEP1 測量



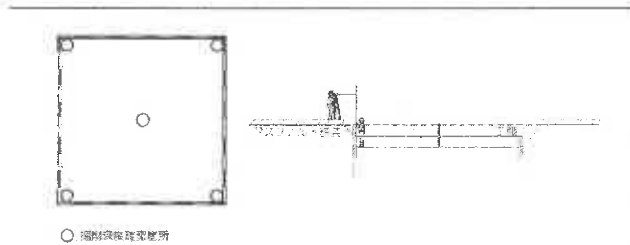
STEP2 土留撤去



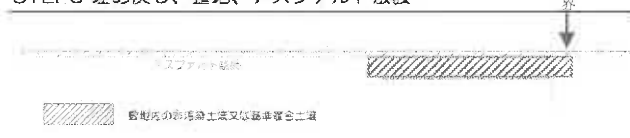
STEP3 掘削・積込



STEP4 掘削完了確認（測量）



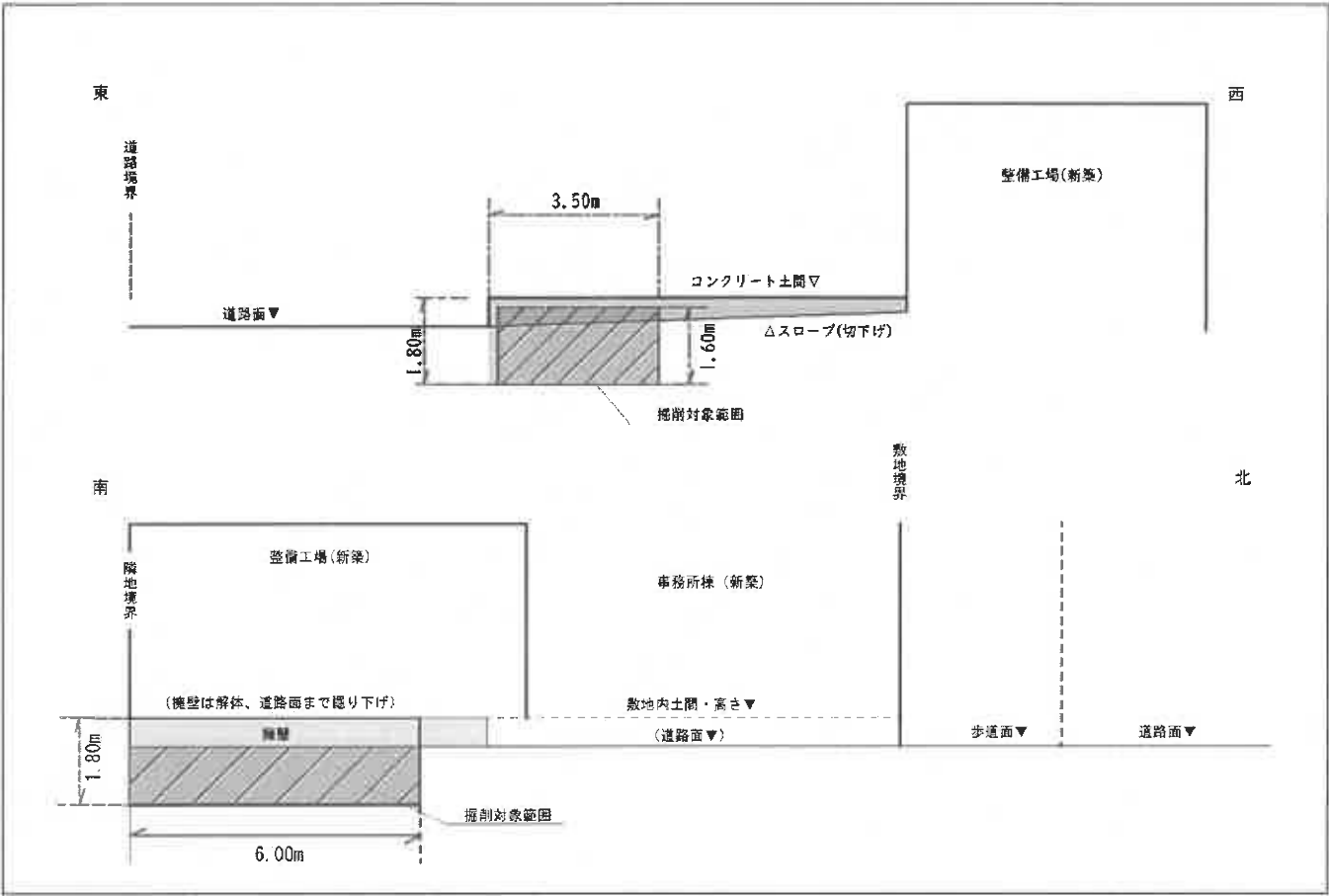
STEP5 埋め戻し、整地、アスファルト敷設

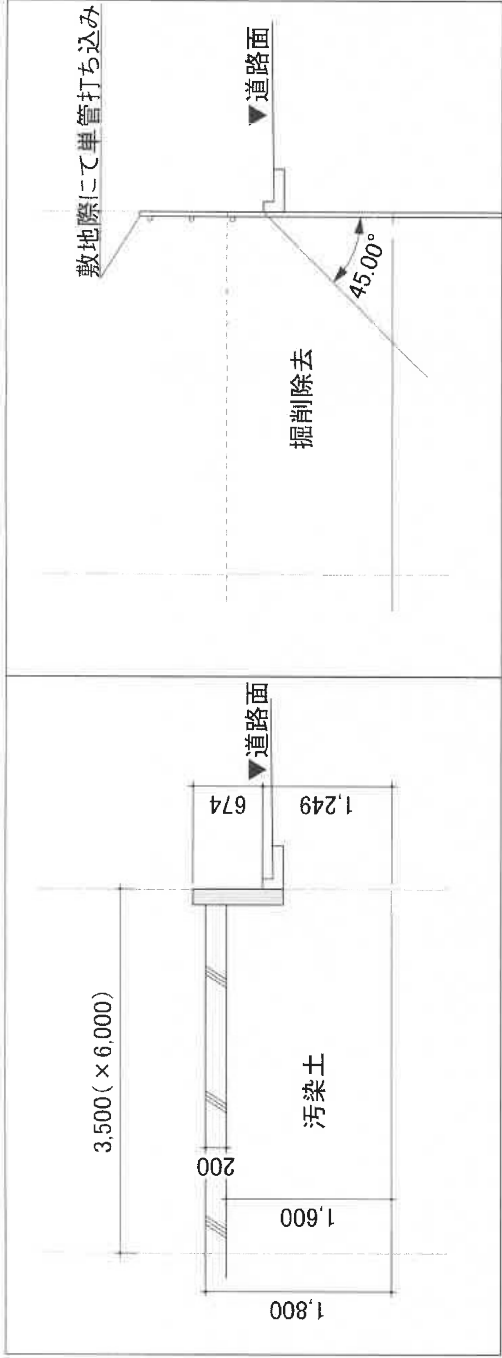


【特記事項】

- ・STEP3 の掘削積込の荷姿はバラ+シート掛けあるいはフレキシブルコンテナバック（内袋有）とする。
- ・埋め戻しは土壌溶出基準および土壌含有量基準に適合した埋戻し材料により埋め戻す。
※敷地内、非汚染区画の掘削土砂を埋め戻し土転用として使用（土壌汚染状況調査により確認済みである材料土）
- ・基準不適合土壌の要対策区域外への拡散を防止するため、作業が翌日に及ぶ場合、かつ掘削底面に達していない場合はシート養生を行う。

以下に、掘削除去範囲の概要図（断面）を示す。





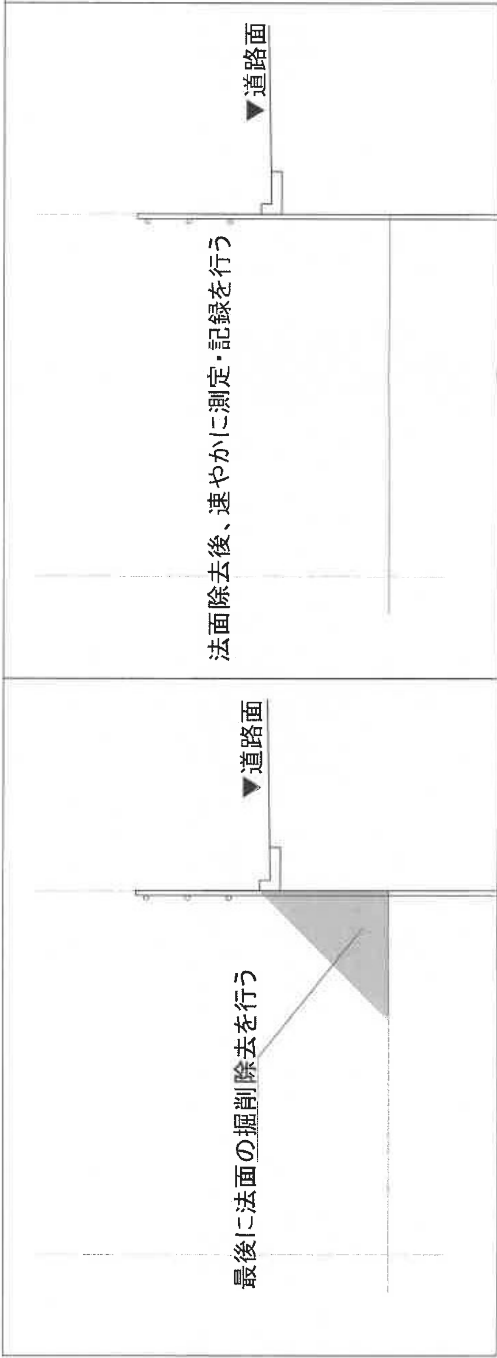
①施工準備

- ・構造物の撤去を行う。

②掘削除去 3.5m x 6.0mの範囲

- ・敷地境界に単管を打ち込み横杭を設置し、仮囲いとする。
- ・敷地境界から45度の法面を確保し、汚染土を除去する。

※区道境界の擁壁解体に伴い、道路縁石を新設・入れ替え



③掘削除去

- ・法面の掘削除去を行い、敷地境界部分は手作業にて行う。

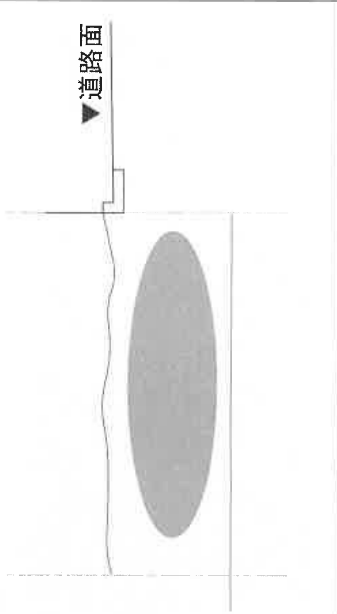
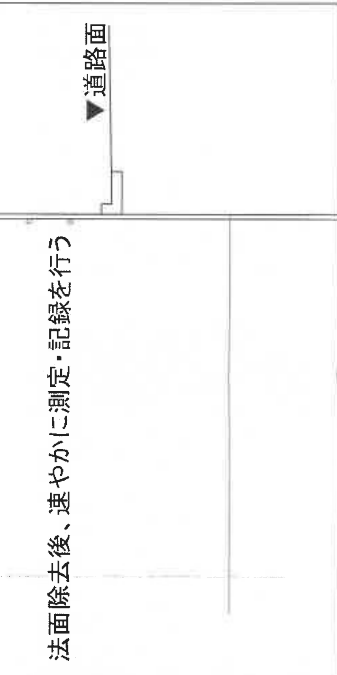
④測定・記録

- ・出来形の測定を行い、写真撮影を行う。

⑤埋戻し

- ・場内の掘削土にてし型側溝天端まで埋戻しを行う。

短管を撤去し、付着した土を汚染土として処分を行う
場内の基準適合土にて埋め戻しを行う。



Project:

Drawing title:

Scale:

date:

株式会社 アーク・プランニング

東京都立川市蒲田町3-8-4-2F

tel: 042-525-4004 fax: 042-523-6464

mail: ark-planning@t4easi.ocn.ne.jp

作成者:

number:

汚染土除去工事 計画

ARK-PLANNING



Z1-6 区画の汚染土壌はすべて除去した。

[illegible][illegible]